

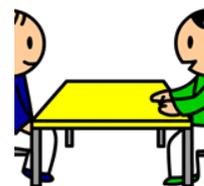
|             |       |
|-------------|-------|
| 都立青山特別支援学校長 | 井上 一仁 |
| 相談支援部主任     | 中村 尚子 |
| 本号作成        | 中村 尚子 |
|             | 田村 明子 |
|             | 斎須 依恵 |

## 「関係支援機関連絡会」を実施しました

12月6日（水）の午前中、41ヶ所の関係支援機関の方々が本校を訪れました。放課後等デイサービス、学童保育クラブ、療育機関、相談支援事業所等の職員の方々が参加し、校内見学と説明会、グループに分かれての情報交換会を行いました。

前半の校内見学会では初めて本校に足を運んだ方も多く、施設や子供たちの様子を見学し、校内の整った環境や放課後の姿とは違う子供たちの姿に関心を示していました。後半のグループごとの情報交換会では、3つのグループに分かれて「支援の工夫について」「関係機関との連携について」「思春期の対応について」等々、それぞれの悩みや取り組みについて情報を交換し合い、熱心な討論が繰り広げられました。

連絡会終了後は「子供たちの学校での様子を見ることができよかった」「環境設定についてとても参考になった」「情報交換会では他機関も同じような悩みを抱えていることが分かり、支援のヒントになった」等の感想が寄せられました。本校の児童・生徒が利用する関係支援機関の数は、この数年でとても増えました。今後も様々な形で連携をとりながら、よい支援につないでいきたいと思えます。



## 「めぐろの子どもたち展」に参加しました

1月20日（土）から2月4日（日）に目黒区立美術館で開催された、目黒区立幼稚園・こども園、小・中学校の連合展覧会に、目黒区立小・中学校で副籍交流を行っている本校の児童・生徒の作品も出展させていただきました。美術館に入ってすぐのスペースに、区内の特別支援学級の皆さんの作品と並べて展示させていただきました。支援が必要な子供たちの存在と、学校での取り組みを、区内のたくさんの保護者や関係者の皆様に見ていただけたのではないかと思います。今後も、学区でもあり、センター的機能の発揮エリアでもある目黒区の教育委員会や各園・学校と連携を深め、子供たちの地域生活の充実のために協力して参ります。



## ◆校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。



コーディネーター等が御家庭での子育てのお悩みなど、一緒に考え、解決していけるよう御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御相談ください。

## 小学部 学校間交流を行いました



本校小学部は、全ての学年が交流連携校との学校間交流を行っています。今号では、都立青山高校（青山フィルハーモニー管弦楽団）との交流の様子を御紹介します。

### 都立青山高校（青山フィルハーモニー管弦楽団）との交流

1月18日（木）に、青山高校の青山フィルハーモニー管弦楽団（以下“青フィル”）の皆さん79名を本校の体育館にお迎えし、本校小学部1・2・3・4年生の計66名が、直接演奏を聴く交流をしました。体育館のステージの幕が開き、楽器を持って、ずらっと並んだ青フィルの皆さんが登場すると、児童は驚きとともに、これから始まる演奏への期待感に、胸を高鳴らせた表情で拍手していました。大編成の楽団の演奏を、目の前で聴く時間は、児童にとってとても貴重な経験でした。



楽曲は本校児童から集計を取り、リクエストした「さんぽ」「山の音楽家」「やきいもグーチーパー」「銀河鉄道999」「エピカニクス」の5曲を演奏していただきました。そして、どの楽曲も、青フィルの歌のお姉さん2名が、前に出て歌ってくださいました。



「山の音楽家」では、“上手にフルート吹いてみましょう♪”と歌われると、実際にフルート奏者が立ち上がり吹く、というように、順番に楽器が代わりながら演奏されていました。その様子に、児童も「あっちだ！」と立ち上がった青フィルの皆さんに注目して、聴いていました。

また、今年度も昨年に引き続き、青フィルの皆さんが児童一人一人に、手作りの楽器をプレゼントしてくださいました。振るとシャカシャカと音が鳴ったり、テープがキラキラ光ったりと、様々な種類があり、児童は目を輝かせていました。「銀河鉄道999」は、大編成の迫力ある演奏に圧倒されながらも、いただいた楽器を振りながら楽しく演奏を聴いている様子がありました。

最後の「エピカニクス」では、青フィルの皆さんが児童の近くに来てくださり、児童も立ち上がり一緒に踊りました。手を繋いだり、ハイタッチしたりと、笑顔溢れる児童もいましたが、会話をすることが恥ずかしくて、席から立つことが難しい児童もいました。しかし、青フィルの方がそばに行ってください、徐々に打ち解け笑顔になっていました。その中の児童の一人は、交流を終えてから、「大きくなったら、あのお姉さんになる。」と教えてくれました。どの児童にも寄り添ってくださる青フィルの皆さんの思いやりが、児童に伝わり、またその児童から誰かにつながる、とても素敵な流れだと感じました。

今後も、同じ地域にある学校同士、思いやりをもちながら、つながりを大切にしていけたらと思います。

